

科目名 植物資源生産学特論(一) (2単位)

担当者氏名 吉田 穂積、寺澤 和彦

◆学習・教育目標

植物資源の保全、環境に適合して植物生産、さらに新たな植物の機能開発と植物資源の開発に関わる最新の知見を得ることを本特論の到達目標とし、既存の植物資源の保全や生産に関わる背景や現状について理解するとともに環境に適合した植物性s何管理法や生産資源機能の新しい応用などについての基礎的な知識を講義し論議する。

◆取り扱う領域(キーワードで記載)

地球環境	環境変動	自然生態系	農業生態系
生物連鎖	総合的生産管理	環境保全	持続可能な食糧生産

◆授業の進行等について(単位制度に基づく授業の進行予定・内容)

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1-5	植物生産と非生物的環境要因 (寺澤)	植物生産は、土壌・大気・水などの無機的環境の上に成立するとともに、物質循環の変化を通じ無機的環境に影響をもたらす。生産と無機環境の双方向の関係について講述する。	学部で学習した基礎的な事項をさらに掘り下げて学び、持続的な生産環境の維持・形成のための知識修得と思考力養成をめざす。
6-10	植物生産と生物的環境要因 (吉田)	作物生産は、環境内の生物的要因との関係によりその収量が最終的に規定される。そこで、これらの生物的要因と作物生産の関係について講述する。	植物生産と生産環境内の生物的要因との関連性について学習してもらい、その重要性を理解し、他生物との関係による作物生産の展開を思考する。
11-15	作物生産の現状と課題 (吉田)	21世紀の作物生産において対応しなければならない課題についての現状と今後の展望について講述する。	地球環境の変動が予測されているなかで、21世紀における持続的な作物生産を可能にするため課題について学習する。

◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

各テーマに応じた資料を講義時に配布予定であろう

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

講義時に紹介する

◆評価の方法(レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト)

出席とレポート等で評価する

◆その他受講上の注意事項

講義時に配布された資料や講義前に指示した資料をよく理解しておくこと。